

医学部（看護学科）アセスメントプラン

1 アセスメントの目的

学生や社会の状況を捉え、データに基づくカリキュラムおよび個々の授業、そして学習支援の改善を継続的に行うことを目的として、学修成果のアセスメントを行う。アセスメントにあたっては、直接評価と間接評価の双方を取り入れる。前者については成績や学籍異動の状況に関するデータを収集し、後者については全学生に対して毎年実施するアンケートを中心にデータを収集する。アンケートについては縦断的な調査を行うことにより、総体としての学生の状況だけでなく個々の学生における能力や学習状況の変化を追跡する。これにより、個々の学生に対する学習支援の改善を行う。さらに、成績評価の結果や学籍異動の状況に関するデータと併せて分析することで、休学・中退や成績不振の予測などへの活用を図る。

2 達成すべき質的水準

達成すべき質的水準は、医学部看護学科のディプロマ・ポリシーにおいて定めている。ディプロマ・ポリシーにおいては、将来的に地域のリーダーとして人の暮らしを支える看護を牽引するために必要な能力を身につけることを期待している。カリキュラム・ルーブリックにおいて「人の暮らしを当事者目線で理解する能力」、「倫理的能力と対話能力」、「根拠に基づいて看護を実践する能力」、「人の一生涯の暮らしを支える看護を実践する能力」、「人の暮らし地域性を看護に活かす能力」、「不断に看護を学び続ける能力」の6つの能力のすべてが3以上（4段階中）、そのうち3つ以上が4（4段階中）に、卒業予定学生全員の自己評価が到達することを目標としている。また、国家試験合格率100%になることを目標としている。

3 アセスメントの方法

No.	名称	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	手法	実施責任部署	結果の活用方法
1	新入生アンケート	毎年4月	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	webアンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、各学部の学習支援や初年次教育などカリキュラムの改善、自己点検・評価、情報公開に活用
2	学年末アンケート	毎年学年末	全学年	学習行動、授業・カリキュラム満足度	webアンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、各学部の授業方法やカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	卒業予定者アンケート	毎年1-3月	4年生	在学中の状況、愛大学生コンピテンシーの習得状況	webアンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、各学部のカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
4	授業アンケート（共通教育）	毎年4回（各クォーター）	全学年	学習の状況、授業の満足度	webアンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構（共通教育センター）が共通教育センター会議に報告し、共通教育の授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
5	成績不振学生の調査	毎年2回 年1回年度末	全学年 全学年	学業不振の状況（GPA、修得単位数、休学者数）卒業率 学業不振の状況	修学支援システム	教育・学生支援機構／各学部 教務委員会	各学部が教育学生支援会議に報告し、各学部の学習支援の改善、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 年度末に集計したデータを翌年度に教務委員会で報告し分析する。分析結果から学習支援方法を検討するとともに、カリキュラムの改善、自己点検・評価に活用
6	休退学調査	毎年1回 年1回年度末	全学年	休学者数、退学者数 留年者数、休学者数、退学者数	修学支援システム	教育・学生支援機構／各学部 教務委員会	各学部が教育学生支援会議に報告し、各学部の学習支援の改善、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 年度末に集計したデータを翌年度に教務委員会で報告し分析する。分析結果から学習支援方法を検討するとともに、カリキュラムの改善、自己点検・評価に活用
7	学生学修状況アンケート（卒業予定者アンケート含）	3月 毎年1回	全学年	DPの修得状況の学生自己評価（DPルーブリック）	webアンケート	教務委員会	教務委員会が学生生活担当教員および看護学科会議に報告し、学修支援および授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
8	学生学修状況	3月 毎年1回	全学年	各科目・各科目群・各DPの関連科目の評定、GPA、学位の取得年数、修業年限期間内に卒業する学生の割合・留年率・中途退学率	修学支援システム	教務委員会	教務委員会が看護学科会議に報告し、学修支援、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	看護技術の習得状況	2～3月 毎年1回	全学年	看護技術の習得状況（看護技術ルーブリック） *学年による比較	webアンケート	教務委員会	教務委員会が看護学科会議に報告し、学修支援、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用

10	統合的な科目の学修状況	2～3月 毎年1回	4年生	暮らしの支援実習Ⅱの成績評価、学生自己評価（実習ループリック）、実習先評価 卒業研究の成績評価、学生自己評価（卒業研究ループリック）	修学支援システム web アンケート 質問紙調査	教務委員会	教務委員会が看護学科会議に報告し、学修支援、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
11	卒業生予定者の進路状況	3月 毎年1回	4年生	看護師国家試験、保健師国家試験、教員採用試験の合格状況、就職・進学率、職種、職種ごとの県内就職率	修学支援システム	学生生活委員会	学生生活委員会が看護学科会議に報告し、授業方法やカリキュラム改善、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
12	授業評価アンケート（専門教育・学生授業評価アンケート）	7月・1月 毎年2回	全学年	学習の状況（理解度）、授業の満足度	web アンケート	自己点検・評価委員会	自己点検・評価委員会が看護学科会議に報告し、授業方法やカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
13	学生聞き取り調査（学生代表者との意見交換）	1月 毎年1回	全学年	授業全般・学生生活支援（就職支援含む）・学習環境・の満足度	学生代表へのヒアリング	学生生活委員会	学生生活委員会が看護学科会議に報告し、授業方法やカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価に活用
14	卒業生アンケート（卒業生への意見聴取）	5～7月 毎年1回	卒後1年、5年、10年の卒業生	卒業までに修得したDPに示された資質・能力が役に立っているかの評価 *就職先との比較	web アンケート	自己点検・評価委員会	自己点検・評価委員会が看護学科会議に報告し、カリキュラム改善、自己点検・評価、情報公開に活用
15	就職先アンケート（卒業生の就職先等への意見聴取）	5～7月 毎年1回	卒後1年、5年、10年の卒業生の就職先	DPの修得状況（卒後1年のみ）、卒業までに修得したDPに示された資質・能力が役に立っているかの評価 *卒業生との比較	web アンケート（質問紙調査）	自己点検・評価委員会	自己点検・評価委員会が看護学科会議に報告し、カリキュラム改善、自己点検・評価、情報公開に活用
16	カリキュラム評価	9月 4年に1回	全学年	DPを実現できるカリキュラムになっているか、DPは適切か（状況の変化に対応したDPとなっているか）、アンケートやデータ集計の結果をもとにしたDPとカリキュラムの総合的な点検・評価 *他の看護系大学の卒業時の到達目標の達成状況や看護技術習得状況との比較 *様々な提言・報告（JANPU コアコンピテンシー、日本学会議の教育課程参照基準、文科モデル・コア・カリキュラム）などと教育課程の関連を検討する		教務委員会	教務委員会が看護学科会議に報告し、カリキュラム改善、FD、自己点検・評価、情報公開に活用

17	ステークホルダーへの 意見聴取	概ね5年に1 回	患者代 表、医 療機 関、医 療行政 関係者 等	カリキュラムの課題と改善点、 学習成果の点検、等	意見交換	教務委員会	教務委員会が看護学科会議に報告し、カリキュラム 改善、FD、自己点検・評価、情報公開に活用
----	--------------------	-------------	--	-----------------------------	------	-------	--